

日本語用論学会

The Pragmatics Society of Japan

第11回（2008年度）大会

プログラム

2008年12月20－21日

松山大学(文京キャンパス)

日本語用論学会

第11回(2008年度)大会プログラム

The 11th Annual Conference of Pragmatics Society of Japan

- Date: Dec. 20th and 21st 2008
- Place: [Matsuyama University, Shikoku, Japan](http://www.matsuyama-u.ac.jp/)

日時 2008年12月20・21日(土・日)

会場 松山大学 文京キャンパス
〒790-8578 愛媛県松山市文京町4-2
URL: <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

大会受付(初日) 11:30~	8号館1階
書籍展示 13:00~18:00	8号館3階 学生ロビー(西側)
一般休憩室	8号館3階 学生ロビー(東側)
発表者控え室(休憩室)	8号館5階 859番教室
インターネットルーム	8号館4階 840番教室

(昼食堂については当日配布プログラムをご参照下さい。)

大会スケジュール(要旨)

20日(土)

11:30~ 大会受付
12:20~ 開会式
12:30~ 総会
13:00~ 会長講演
14:45~ 研究発表
14:45~ ワークショップ
18:00~ 懇親会

21日(日)

9:00~ 大会受付
9:15~ 研究発表
10:00~ ワークショップ
12:30~ ポスター発表
14:00~ 特別講演
15:30~ 閉会式

12月20日（土曜）

開会式（12:20～12:30）

8号館2階 821番教室

司会： 東森 勲（事務局長）

1. 開会の挨拶
2. 歓迎の挨拶

山梨正明（日本語用論学会会長）
森本三義（松山大学学長）

総会（12:30～13:00）

8号館2階 821番教室

司会： 東森 勲（事務局長）

1. 会長挨拶
2. 事務局長報告
3. 編集委員会報告
4. 会計報告
5. その他

山梨正明（京都大学）
東森 勲（龍谷大学）
林 宅男（桃山学院大学）
富永英夫（兵庫県立大学）

会長講演（13:00～14:30）

8号館2階 821番教室

司会 山本英一（関西大学）

講師： 山梨正明（京都大学）

演題： 認知語用論からみた文法・論理・レトリック

研究発表 [8号館4階・全3室]（14:45～17:50）

1. 14:45～15:20 2. 15:20～15:55 3. 16:05～16:40 4. 16:40～17:15 5. 17:15～17:50

1室 [841教室]

司会 Lawrence Schourup（大阪府立大学）

1. Reference transfer at the grammar-pragmatics interface
Yicheng Wu, Jing Chen and Huaxin Huang
(University of Hong Kong & Zhejiang University)
2. Relativity of conversational inference reconsidered: A case study from intercultural (mis) communication
Masataka Yamaguchi (University of Otago)

（10分休憩）

司会 中村芳久（金沢大学）

3. On lexical modulation: some implications of dynamic syntax for relevance theory
Tohru Seraku (University of College London)

4. A corpus-based study of lexicogrammatical and discourse strategies of the English speech act
"invitation" employed by U.S. university students

Toshihiko Suzuki (Waseda University)

5. Accent of Japanese loanwords in Paiwan conversation

Chun-Mei Chen (National Chung Hsing University)

2室 [842教室]

司会 金水 敏 (大阪大学)

1. 中国語の否定応答表現「没有」の談話における機能 新沼雅代 (お茶の水女子大学大学院生)
2. 終助詞「よ/ね/な/か」の対立的意味機能 —発話場面における「聞き手の存在」を指標として—
加藤 淳 (名古屋大学大学院生)

(10分休憩)

司会 西山佑司 (明海大学)

3. 「しょせん」に関する一考察 山本尚子 (奈良女子大学大学院生)
4. 広告、レシピ、ヘッドラインに現れる結果構文 —関係性理論からの一考察—
吉川裕介 (京都外国語大学大学院生)
5. モンゴル語の接続語 *eimueche, inggiged* と手続き的意味
白阿栄 (バイ アーロン) (奈良女子大学大学院生)

3室 [843教室]

司会 高木佐知子 (大阪府立大学)

1. 使用依拠モデルからみた「重複」表現 古牧久典 (東京大学大学院生)
2. 評議における裁判官による言語行為 —発話内行為・発話媒介行為を中心に—
堀田秀吾 (明治大学)・首藤佐智子 (早稲田大学)

(10分休憩)

司会 杉本孝司 (大阪大学)

3. 高文脈依存オノマトペの意味拡張に関する一考察 —統合的モデルによるアプローチ—
井上加寿子 (大阪大学大学院生)
4. 様態表現「Nのように」の対照言語学的分析
—日本語、英語、ドイツ語、ハンガリー語とフィンランド語の平行テキスト研究—
野瀬晶彦 (麗澤大学)・朽方修一 (テュービンゲン大学大学院生)
5. シミリはメタファーか? —語用論的考察— 鍋島弘治朗 (関西大学)

ワークショップ [8号館4階・全2室] (14:45~17:15)

1. 14:45~15:20 2. 15:20~15:55 3. 16:05~16:40 4. 16:40~17:15

1室 [844教室] 「日本語をジェンダーから考える」

司会 中村桃子

1. 「ジェンダー」関連語の展開と言語イデオロギー 齋藤正美 (富山大学)

2. 標準語による方言のジェンダー化
(10分休憩) 熊谷滋子 (静岡大学)
3. 「お父さん/オレの言うことを聞きなさい」 —親の自称詞選択にかかわる規範意識の考察—
佐藤響子 (横浜市立大学)
4. 異性愛の言語資源としての「女/男ことば」 中村桃子 (関東学院大学)

2室 [845教室] Issues in Pragmatic Impairment: Cognitive Pragmatic Approaches

Chair: Seiji Uchida(Nara Women's University)

Commentator: Deirdre Wilson (UCL&CSMN, University of Oslo)

1. Mind-reading and pragmatic interpretation in elderly people suffering from dementia
Junko Kono (Ryukoku University)
2. Autistic children's sensitivity to speaker certainty expressed in prosodic and lexical cues
Yui Miura (Kyoto University), Tomoko Matsui (Kyoto University),
Yoshikuni Tojo (Ibaraki University), Hiroo Osanai (Musashino Higashi Gakuen)
(10分休憩)
3. Dyslexia and pragmatics Ryoko Sasamoto(Manchester Metropolitan University)

●懇親会 (18:00～) カルフル 食堂 (会費 4,000 円)

12月21日 (日曜日)

研究発表 [8号館4階・全3室] (9:15～12:20)

1. 9:15～9:50 2. 9:50～10:25 3. 10:35～11:10 4. 11:10～11:45 5. 11:45～12:20

1室 [841教室]

司会 林 宅男 (桃山学院大学)

1. Pragmatic aspects of the "negative use" of the Japanese adverb motto
Osamu Sawada (University of Chicago)
2. The contents of definite descriptions, proper names, and personal pronouns
Etsuko Oishi (Fuji Women's University)
(10分休憩)
- 司会 林 礼子 (甲南女子大学)
3. Small talk in business meetings in Japanese and in English Kazuyo Murata (Ryukoku University)

4. "Okkanai toko na n desu ka"(Is it a frightening place)?: A microethnography of the sequential and categorical aspects of co-accomplishing learning as participation in L2 Japanese

Cade Bushnell (University of Hawaii at Manoa)

5. 「ごめんなさい」とそのバリエーションの分析 —発話行為理論の論点から—

ロクサナ・サンドゥ・島途健一 (東北大学)

2室 [842教室]

司会 山口治彦 (神戸市外国語大学)

1. 「ノダ」の手續きの意味 —説明のノダ文を中心に— 梶浦恭平 (明海大学大学院生)
2. 談話標識 look の手續きの意味 西川眞由美 (摂南大学)

(10分休憩)

司会 西光義弘 (神戸大学)

3. 談話上の位置からみた「皮肉なことに」の機能 西谷工平 (大阪市立大学大学院生)
4. メタファー表現の創造性は何に起因するのか —関連性理論と認知意味論の関わりを通して— 岩橋一樹 (大阪大学大学院生)
5. トートロジーの言語的意味と第一次語用論的プロセス 酒井智宏 (日本学術振興会特別研究員)

3室 [843教室]

司会 松木啓子 (同志社大学)

1. 言語表現によるジェンダーの規定 西野由起江 (京都大学大学院生)
2. 「自分」と「自身」の使い分けについて 汪宇 (名古屋大学大学院生)
(10分休憩)

司会 小山哲春 (京都ノートルダム女子大学)

3. 条件文の帰結節に現れる認識のモダリティ アリ・アイジャン・コルクサ (北海道大学大学院生)
4. 日本語およびドイツ語における確信度をあらわす語彙とイントネーションの理解の発達 三浦優生 (京都大学大学院生)
5. サイコセラピーにおけるモダリティ表現が持つ心理的作用
—主/客観的指向表現に焦点を置いて— 加藤澄 (青森中央学院大学)

ワークショップ [8号館4階・全2室] (10:00~12:30)

1. 10:00~10:35 2. 10:35~11:10 3. 11:20~11:55 4. 11:55~12:30

1室 [844教室] 「モダリティ研究のための多角的視点」

司会 澤田治美 (関西外国語大学)

1. ムードとモダリティの相互作用 澤田治美 (関西外国語大学)
2. 動機づけのタイプと法助動詞の表すモダリティ 長友俊一郎 (関西外国語大学)

3. 文副詞 actually の語用論的機能とモダリティ —相互主観性の観点から—

岡本芳和 (関西外国語大学)

(10分休憩)

4. 認識様相の MIGHT/MIGHT HAVE の基盤化と投射

片岡宏仁 (関西外国語大学大学院生)

2室 [845教室] 「構文の発現と語用論的視点」

司会 児玉一宏

1. 構文の発現と語用論的視点 —英語の中間動詞構文と二重目的語構文の分析を中心に—

児玉一宏 (京都教育大学)

2. 構文の発現と語用論的視点 —談話語用論の視点から— 宮下亜矢子 (京都府立大学大学院生)

(10分休憩)

3. 構文の発現と語用論的視点 —フランス語の代名動詞構文について— 伊勢 晃 (京都教育大学)

4. 構文の発現と語用論的視点 —主体性との関連で—

深田 智 (聖トマス大学)

ポスター発表 [8号館 5階] (12:30~13:50)

1室 [852教室]

1. Brown and Levinson (1987) に基づく朝日新聞と The New York Times の社説比較

—2008年7月洞爺湖サミットに関して—

稲永知世 (大阪府立大学大学院生)

2. Honorifics and intercultural communication

Kaczmarek Mirosława (Tokyo University of Foreign Studies)

3. FTA補償マーカ―としてのカナ

金 世真 (早稲田大学大学院生)

2室 [853教室]

1. Understanding Anger in cross-cultural context

毛 峻凌 (奈良女子大学大学院生)

2. 接触表現の意味拡張におけるメタファー的投射

高嶋由布子 (京都大学大学院生)

3. 日本語の転移修飾表現について

加藤恵梨 (名古屋大学大学院生)

3室 [854教室]

1. What is formality--is it semantic or pragmatic?: A relevance theoretic re-analysis of reformulation markers
tsumari and sunawachi

Ryoko Sasamoto (Manchester Metropolitan University)

2. NNSの談話に見られる「のだ」に後接する文末のスピーチレベルシフト

上仲 淳 (銘伝大学)

3. 対話における行為遂行の分析の試み —看護師の対話記録から—

松本斉子 (九州大学大学院学術研究員)

4室 [855教室]

1. ピア・レビューにおける参加者の役割と言語機能 —台湾の大学の英語作文授業を通して—
林淑璋 (元智大学)・陳珈璘 (元智大学大学院生)
2. 雑誌における「～たい」の意味 —読者の捉え方の実際— 米澤 優 (神戸大学大学院生)
3. 動画共有サイトにおけるシステムによるコミュニケーション形態の違いについて
金丸敏幸 (京都大学)

5室 [856教室]

1. Neutralizing power: Functions of the address terms kun and chan among adult speakers of Japanese
Kiri Lee (Lehigh University)
2. 移動動詞とダイクシス 澤田 淳 (京都大学大学院生)
3. There's It-Amalgams Have the Same Properties as There-Amalgams: Towards an Integrated Theory of Amalgams
高木 勇 (京都大学大学院生)

6室 [857教室]

1. "Father my eye!": 否定を表す構文 五十嵐海理 (龍谷大学)
2. 英語の与格交替に関するフレーム意味論的考察 —金銭のやり取りにまつわる動詞を中心に—
年岡智見 (京都大学大学院生)
3. Relative influence of multiple factors affecting English dative alternation on native speakers' production and L2 learners' production
Yoko Yamada (関西外国語大学)

7室 [858教室]

1. 語用論的観点を生かした機能語の記述方法 趙順文 (開南大学)
2. 統計的手法を用いた類義語の意味分析 鈴木大介 (京都大学大学院生)

特別講演 Special Lecture (14:00~15:30)

8号館2階 821番教室

司会 東森 勲 (龍谷大学)

講師: Prof. Deirdre Wilson (UCL & CSMN, University of Oslo)

演題: Parallels and Differences in the Treatment of Metaphor
in Relevance Theory and Cognitive Linguistics

閉会の挨拶: 久保 進 (松山大学・日本語用論学会副会長)

開催校実行委員

久保 進	松山大学経済学部教授・大学院言語コミュニケーション研究科教授 (日本語用論学会副会長)
西山文夫	松山大学経済学部准教授
瀧 由紀子	松山大学経営学部教授・大学院言語コミュニケーション研究科教授
金森 強	松山大学人文学部英語英米文学科教授・大学院言語コミュニケーション研究科科长
鈴木光代	愛媛県立医療技術大学教授・松山大学言語・情報センター共同研究員
越智希美子	松山大学非常勤講師・松山大学言語・情報センター共同研究員

日本語用論学会：会長 山梨正明

事務局：〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 番地の 1

龍谷大学 東森 勲 研究室内

Tel 075-343-3311 (代表) , Fax 075-343-4302

E-mail: psj.secretary@gmail.com